

北陽台だより 第244号

青い波北陽台

平成31年1月25日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 野中 光治

北陽台 SMILE

校長 野中 光治

少し古い曲になりますが、AKB48に「恋するフォーチュンクッキー」という曲がありました。一時期は、その曲に合わせて踊る映像を、様々な企業や団体がこぞって動画サイトに投稿するという「恋チュン現象」も起きましたし、2015年冬の音楽番組「クリスマスの約束」で、小田和正（元オフコース）と和田唱（トライセラトップス）がギター2本のアレンジで歌った曲でもあります。

フォーチュンクッキーとは、アメリカの中華料理店で食後に出るお菓子のことだそうで、中に「おみくじ」が入っているそうです。歌詞に「ツキを呼ぶには笑顔を見せること」とありますが、投稿された映像が見る者をひきつけるのは、ダンスのうまい下手ではなく、笑顔の力なのだと思います。

長崎北陽台の一番大切なものは何かと考えたとき、それはもちろん、生徒たちの「笑顔」であり、日々学習に部活動に頑張っている生徒たちの笑顔が溢れる、笑顔が輝く学校でありたいと思っています。そこで、その長崎北陽台の「笑顔」の源について、少々手前みそながら、“SMILE”の綴りにそって考えてみました。

“SMILE”の最初のSはSport「スポーツ」です。運動部、文化部ともに一生懸命活動しています。ラグビー部の花園ベスト8は記憶に新しいところです。次のMはManner「礼儀」です。お叱りを受けることもあります。長崎北陽台生は礼節を保ったさわやかな高校生でありたいと思います。IはIntelligence「知性」です。言葉を学び、感性を磨き、豊かな創造力を育む学校でありたいと思います。LはLeadership「リーダーシップ」です。本校生は、地域や世界、そして21世紀をけん引する人材であってほしいと思います。最後のEはEvent「行事」です。開校以来続く学校行事を受け継ぎ、それらに積極的に参加し活動しながら、未来に向けて継承しています。そして、これらを合わせたものが「北陽台 SMILE」です。どうでしょうか？

自分と他者を一瞬にして幸せの中に包み込む笑顔は、紛れもなく世界の共通語です。そして、幸せのあるところには、いつも笑顔の花が咲いています。花が咲くの「咲」には、もともと「笑う」という意味があり、その用例は現存する最古の史書「古事記」にもみられます。喜びを倍にして、悲しみをぬぐい去る笑顔。生徒の笑顔の花が毎日満開である学校でありたいと思います。

笑う門には夢来たる。

今年一年、学校が笑顔で溢れていますように。

ラグビー部全国大会 **ベスト8** 達成！！

第98回全国高校ラグビー大会に2年ぶりに出場した本校ラグビー部は、11年ぶりの全国8強を公立高校の中で唯一達成しました。多くの方のご声援とご支援ありがとうございました。

北陽台高校は、Bシード校として2回戦から登場しました。新聞には、「13大会ぶりにシード校に選ばれた県立校は、登録選手も30人に満たない29人。学校のグラウンドは他部と共用で、練習ではフィールドの半分しか使えないという。」と紹介されました。

以下、三試合のハイライトを紹介します。

◇ 2回戦 北陽台 71-0 鹿児島実業

11トライを挙げた上、完封勝利した長崎北陽台。最初のプレーで流れをつかんだ。試合開始のキックオフ。相手陣深くけり込み、捕球した相手に圧力をかけると、たまたらず相手が反則。ゴールラインまで5メートルのスクラムからボールをつなぎ、最後はFB山口が先制のトライを挙げた。



◇ 3回戦 北陽台 21-15 茗溪学園(茨城)

Bシード同士の対戦となり、お互いにターンオーバーを繰り返す接戦。得点を取り合う展開となるが、茗溪学園がリード。だが23分、長崎北陽台のFL(フランカー)山内裕斗(3年)がモールから抜け出しトライを挙げて21-15で逆転し、11シーズンぶりの8強入りを決めた。



◇ 準々決勝 北陽台 12-40 東福岡

東福岡が前半7分までにカウンター攻撃から2トライ(2ゴール)を先行。長崎北陽台も後半6分、ナンバー8山添がラックサイドを突破して1トライ(ゴール)を返したが、その後は東福岡が3トライ(2ゴール)を追加した。北陽台も28分に、WTB山田がインターセプトから約80メートル独走トライを決めたが、届かなかった。



38 回生いざ出陣！ 平成最後のセンター試験

1月19日(土)20日(日)の両日、本年度の大学入試センター試験が実施され、38回生272名が長崎大学文教キャンパスで受験に臨みました。普段の実力を十分に発揮してくれたことと思います。この後は、特編授業、二次試験と続いていきます。38回生が志望校合格の花を咲かせられるよう全校で応援しています。



凧揚げ大会に燃えた2年生

1月17日に開校以来の伝統行事である凧揚げ大会が第2学年によって行われました。

凧は、縦横合計が5m以上を条件とした大凧です。微風の状況という悪条件の下、各クラス空高く上がるように奮闘していました。

優勝	2年5組
第2位	2年3組
第3位	2年2組
大空の舞賞	2年5組



伝統の百人一首大会

1月10日に1年生による百人一首大会が開かれ、バラ取り戦と源平戦によるクラス対抗と個人戦が争われました。

読み手の先生が「ちはやぶる・・・」と読み上げると、大きな歓声が起こっていました。

読み手の先生が
「ちはやぶる・・・」
と読み上げると、
大きな歓声が起こっ
ていました。

クラス対抗の部	優勝	1年3組
	第2位	1年4組
	第3位	1年7組

個人の部 優勝 松尾 花(1-3)



<2月の主な行事予定>

- 1日(金) 修学旅行A班帰着
- 2日(土) 修学旅行B班帰着・土曜自学(1年)
- 3日(日) ハイレベル模試(1年)
- 5日(火) 推薦入学者選抜
- 9日(土) 土曜自学(1・2年)・校内オープン模試(3年)
- 10日(日) 校内オープン模試(3年)・校外模試(2年)
- 12日(火) 1・2年学年末試験時間割発表
- 16日(土) 校内オープン模試(3年)
- 19日(火) 1・2年学年末試験(~22日)
- 23日(土) 土曜自学(1・2年)・校内オープン模試(3年)
- 25日(月)・26日(火) 国公立大学前期試験
- 28日(木) 卒業式予行・記念品贈呈式・同窓会入会式



学年主任より

1学年主任 林 圭介

「2年生へつなげる」

先日行われた「百人一首大会」の時にも言われていましたが、これで今年度の学年行事は最後となりました。いよいよ、2年生へつなげていく大切な時期となってきました。「積土成山」で考えてもらった「2年生0学期」に当たるわけです。この1年を振り返って、様々な思いがあると思いますが、2年生への具体的な目標を設定して、良いスタートを切る準備をしなければなりません。

この後の総合学習の時間では、来年度の「海外修学旅行」について、調べ学習をしてもらいます。1年後のことですが、徐々に準備をしていきますので、その時その時に意識の高い活動をしてほしいと思います。また、3年生のセンター試験が終わり、2次試験に向けた最後の追い込みが続いています。君たちには、2年後の大学入試ですが、分かっているとおり、短時間で受験の準備はできません。2年後を見越した長期的な目標を立て、日々努力を重ねていてもらいたいと思います。

2学年主任 下村 かおり

新年を迎えて

「平成最後の・・・」という言葉を目にする機会が多く、今年は無意識のうちに例年とは異なる気持ちで新年を迎えたように思います。新年の迎え方については国それぞれで、“正月三が日”という通念は日本だけです。欧米ではThanksgiving Day からChristmasの頃までがホリデーシーズンで、それが終わると仕事モードに戻り、大晦日はカウントダウンで盛り上がるものの、お正月気分は1日だけのようです。また、今度修学旅行で訪問するマレーシアは、イスラム教、ヒンドゥー教、キリスト教、仏教・・・といった多宗教国家で、互いの宗教は尊重し、祝日は一緒に祝うため、お正月が年に4回もあるそうです。特に、ジョホールバルには中華系の人が多く、2月上旬は春節（旧正月）でお祭りムード全開になるとか。修学旅行はその直前なので、学校交流やホームビジットの折に色々な興味深い話を聞くことができるのではないのでしょうか。北陽台生とマレーシアの高校生がどのような会話で盛り上がるのかとても楽しみです。

3学年主任 池田 裕一

One

皆さんがこの号を読む頃はセンター試験も終わり、次の目標に向けてスタートを切っている頃だと思います。結果が良くて浮かれている人、思うように行かずに焦っている人、色々な人がいると思いますが、結果がどうであれ、皆さんにできることはただ一つ、毎日毎日精一杯の努力を続けることだけです。2次試験までのこの期間をどのように過ごしたかによって、判定とは全く違った結果が出ることも多々あります。

本来、人は色々違ってきます。性格も好みも環境も星座も血液型もみんなそれぞれです。にもかかわらず、共通の目的を持ったときには一つになることができます。それこそが、とてつもない成果を上げる原動力になるのだと思います。ここまで「進化」を続けてきた38回生が最後まで一つになってがんばってくれることを信じています。